

令和5年度 調布市立第三小学校 学校経営計画（学校長 秋國 光宏）

学校の教育目標	
○情操の豊かな心 ○自主的に学ぶ子 ○明るく健康な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○子どもが元気 学校は、子どもにとって安全で安心できる場所であり、心身ともに充実した学校生活を構築する ○教職員がやる気 教職は、児童の夢に向かって共に歩んでいける使命ある尊い職であることを自覚し、やりがいをもって職責を果たす ○地域に活気 学校がコミュニティの中心的役割をもって保護者、地域等と共育する学校づくりを推進する
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳科の交換授業を行うことを通して、学年全体で道徳教育を充実することができる体制を整える。 2 学年・教科担任制における指導体制の構築を図り、児童の学力向上や多面的な児童理解を推進し、魅力的な学校創りを行う。 3 体育専科や体育科の教科担当等による体育科授業の充実を図り、児童の体力向上や運動に親しむ資質・能力を育む。 4 コミュニティ・スクールの体制を整備し、地域とともにある学校づくりを推進する。 5 多面的な児童理解に努め、児童のよさを多く見取るとともに、生活指導上の課題を組織的に解決する体制整備に努める。 6 特別な支援が必要な児童のニーズに応じた支援体制を推進するために、校内委員会や特別支援教室との連携充実に努める。 	
人・組	学年・教科担任制の体制整備を推進し、教員の専門性の向上や業務遂行の効率化を図ることができるようにする。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 道徳科の授業は、原則、学年全体で交換授業を行う。様々な教員が指導することで、多面的な物事の見方や多角的な考え方を育む。	① 学年・教科担任制を推進し、教員の専門性を向上させることで授業改善を推進し、児童の学力向上を図る。	① 体育専科や体育科教科担当等により体育科授業の充実を図り、児童の体力の向上に努める。
② 異学年交流活動の推進を図る。あいさつ運動やいのちと心の授業の充実を図り、自分や相手を大切にしている心情や人間関係を築く能力や態度を育成する。	② 研究推進校の実績を生かした学習者用端末等における ICT 機器の利活用を図り、児童の主体的な学びとなる授業展開に努める。	② 10月を体力向上月刊とし、一学級一実践を行い体力向上を進めるとともに、「わくわくタイム」や「マラソン旬間」「なわとび旬間」「ロング昼休み」を通して運動に親しむ資質・能力を育む。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 学校評価アンケート「道徳教育の充実」の項目で、肯定的な回答率を90%以上とする。	① 学校評価アンケート「児童の学力向上の推進」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。	① 学校評価アンケート「体力向上の推進」の項目で、肯定的な評価を85%以上とする。
② 学校評価アンケート「異学年交流の充実」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。	② 学校評価アンケート「児童の学力向上の推進」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。	② 学校評価アンケート「体力向上の推進」の項目で、肯定的な評価を85%以上とする。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 コミュニティ・スクールの推進	5 生活指導の充実	6 特別支援教育の充実
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な活動を推進し、地域とともにある学校づくりを行う。	① 学年・教科担任制を推進することで多面的な児童理解に努め、児童の多くのよさを引き出すとともに、組織的な課題解決に努める。	① 個々の児童における支援の充実を図るために、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の組織体制の充実を図る。
② 生活科や総合的な学習の時間を充実させるために地域資源や人材を活用するとともに、教科横断的な学習指導を推進し、カリキュラム・マネジメントの推進を図る。	② 多様な児童の状況を的確に把握し、適切な支援方針を立てるために、スクリーニングを導入し、組織的に支援することに努める。	② 特別支援教室体制や巡回相談体制を効果的に進めるために、巡回指導教員や巡回相談員と教員との連携を充実させ、一人一人の児童のニーズに応じた支援に努める。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 学校評価アンケート「地域連携」の項目で、肯定的な評価を85%以上とする。	① 学校評価アンケート「生活指導の充実」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。	① 学校評価アンケート「特別支援教育の充実」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。
② 学校評価アンケート「地域連携」の項目で、肯定的な評価を85%以上とする。	② 学校評価アンケート「生活指導の充実」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。	② 学校評価アンケート「特別支援教育の充実」の項目で、肯定的な評価を90%以上とする。

人材育成・組織運営
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総務主幹が取りまとめた OJT 年間活動計画を基に全教員による学び合いの場を設定し、教員としての資質・能力の向上を図る。 ○ 令和5年度東京都教員研修計画を参照し、各職層に応じた自己研鑽の場を、各自に考えさせ、計画的に取り組めるようにする。 ○ 生活指導や特別支援、不登校支援が必要な児童が生じた際には、ケース検討会議を行い、迅速かつ組織的な対応で取り組むようにする。